

施策事業（イメージ）：環境部会

2018.11.28 協議会資料

参考3

生物多様性の保全とともに、江津湖の持つポテンシャルを最大限に発揮し、人にとっても生きものにとっても、上質な公園空間の創出を実現する。

基本理念

基本方針

取り組み項目

施策事業

① 豊かな水環境の保全

② 生物多様性の保全と自然と人との共存・共生

③ 歴史・文化の継承と活用

④ 感じ・憩い・学び・発信する場としくみの整備

①-1 長期的な地下水かん養対策

①-2 水質の保全・改善

①-3 流域のつながり（水循環）

①-4 地下水のPR

②-1 自然環境の現状把握

②-2 自然環境の保全・再生

②-3 外来生物の駆除（手法の検討）

②-4 自然と人との共存・共生・配慮のあり方（ゾーニング）

③-1 歴史的・文化的資源の保存と活用

③-2 連続性・一体性の創出

③-3 散策ルートの設定と活用

④-1 情報の集積

④-2 魅力・価値の発信

④-3 環境教育、体験型プログラムの整備

④-4 担い手づくり次世代への継承

地下水かん養

地下水かん養対策の継続（水源かん養整備事業、水田湛水事業、等）【大住委員、水保全課】
節水対策や雨水再利用などの持続的な啓発（グリーンインフラ導入の検討）【皆川部会長、水保全課】

①-1-1
①-1-2

水質保全

硝酸性窒素対策や地下水浄化対策の継続【大住委員、水保全課】
河川の水質調査の継続【水保全課】

①-2-1
①-2-2

水循環

水源かん養林で育まれた間伐材を使用したベンチの設置【大住委員】
上流域との交流イベントの実施（地下水を育む農産物や林産物の購入の促進）【大住委員、水保全課】

①-3-1
①-3-2

発信

地下水について学び・楽しめるガイドツアーの実施【大住委員、水保全課】
地下水のめぐみ・大切さを伝える学習（講座、教材作成、サイン設置、等）【大住委員、水保全課】

①-4-1
①-4-2

状況把握

生物の生育・生息状況調査の実施（他地域とのつながり）【奥村委員、環境共生課】

②-1-1

在来種希少種

生物の生育・生息環境の保全【皆川部会長、中島委員、田畑委員、大住委員】
生物の生育・生息環境の再生【皆川部会長、中島委員、田畑委員、坂梨委員】

②-2-1
②-2-2

外来種

外来生物の駆除（ボランティアの育成及び連携）【皆川部会長、中島委員、奥村委員、環境共生課】
外来生物の廃棄方法の適正化（食品化、堆肥化、再利用）【皆川部会長、中島委員】

②-3-1
②-3-2

共存共生

自然と人が共存・共生・配慮するゾーニングの設定【皆川部会長、中島委員、田畑委員】

②-4-1

保存活用

旧砂取細川邸庭園の市指定文化財への指定と保存・活用【丸山委員、文化振興課】
国指定天然記念物「スイセンジノリ発生地」の保護【丸山委員、大住委員、文化振興課】
既存の文字碑を活用した魅力の発信【丸山委員】
庭園文化を活用した魅力の発信【丸山委員】

③-1-1
③-1-2
③-1-3
③-1-4

整備

ストーリー作り、それと連動した共通サインや照明灯の整備【丸山委員】

③-2-1

発信

散策ルートの設定と散策マップの作成、ガイドツアーの実施【丸山委員】
漱石を通じた歴史・文化の魅力発信【丸山委員】

③-3-1
③-3-2

情報集積

江津湖の歴史・文化遺産や環境に関する情報の集積【奥村委員】

④-1-1

発信

江津湖の情報を集積・発信するビクターセンター（仮）の検討【奥村委員、田畑委員、大住委員】

④-2-1

教育

江津湖の自然に親しみ・楽しみ・理解する観察会等の実施【中島委員、奥村委員、大住委員】
江津湖の魅力や価値を伝えるガイドマップや教材等の作成【中島委員】

④-3-1
④-3-2

継承

自然観察会や歴史・文化巡りを通じて新たな担い手や語り部を育成【環境共生課】

④-4-1

②-1 自然環境の現状把握

生物の生育・生息状況調査の実施

事業主体：行政、関連団体

【背景】

現状の把握ができていない
（希少種保全、外来種駆除には必須）
外来魚駆除の効果検証の必要性

【事業スキーム】

・調査の実施（既存調査の継続含む）
・関連団体との連携
・外来生物の駆除計画の策定
（駆除＋新たに出さない・逃がさない）

【課題】

事業費の確保、調査手法の検討

【スケジュール】

長期
（短期：手法検討、調査、計画策定）
（長期：モニタリング調査、計画見直し）



（生物調査状況）

②-2 自然環境の保全・再生

生物の生育・生息環境の保全

事業主体：企業、市民

【背景】

江津湖の在来種の減少
多様なボランティア活動の実施

【事業スキーム】

・在来種・希少種の保全
・湧水エリアの保全

【課題】

企業・市民との連携、活動費の確保

【スケジュール】

長期（スキームの検討→実施）



（ミズアオイ保全活動）



生物の生育・生息環境の再生

事業主体：行政、関連団体

【背景】

生物の生育・生息の場の減少

【事業スキーム】

・行政と関連団体との連携による検討

【課題】

状況把握、手法の検討、人との共存・共生

【スケジュール】

長期（状況把握、スキーム検討→実施）



（現在の上江津地区）

②-3 外来生物の駆除（手法の検討）

事業主体：行政、企業、市民、関連団体

**外来生物の駆除
（ボランティアの育成及び連携）**

【背景】

外来生物の増加

【事業スキーム】

・外来生物の駆除計画の策定
・条例の周知手法の検討
・既存ボランティア活動との連携

【課題】

各種団体との連携、駆除手法・順序の検討

【スケジュール】

長期（駆除計画の策定→実施）



（外来魚の駆除）



（外来植物の駆除）

事業主体：企業、行政

**外来生物の廃棄方法の適正化
（食品化、堆肥化、再利用）**

【背景】

外来生物の処分（手法、費用）

【事業スキーム】

・飲食店での外来魚の提供
・ブランド化

【課題】

飲食店との連携、外来魚の流通

【スケジュール】

長期（スキームの検討→実施）



（ブラックバス＆ピラミマス天丼：琵琶湖博物館）

②-4 自然と人との共存・共生・配慮のあり方（ゾーニング）

事業主体：行政、関連団体

自然と人との共存・共生・配慮するゾーニングの設定

【背景】

江津湖の利用形態の変化

【事業スキーム】

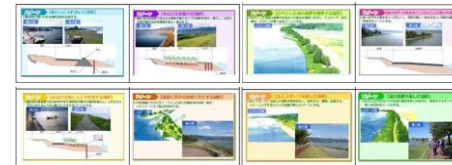
・ゾーニング
（自然と人との係わり）
・自然環境に配慮した江津湖の再整備
（老朽施設の再整備）

【課題】

ゾーンの設定（魅力と質の向上、環境保全）
生態系への影響
景観への配慮

【スケジュール】

短期（現況把握、ゾーニング、設計、整備）



（諏訪湖創生ビジョン：長野県）

③－１ 歴史的・文化的資源の保存と活用

事業主体：行政

**旧砂取細川邸庭園の市指定
文化財への指定と保存・活用**

- 【背景】
文化財としての評価や保存・活用
- 【事業スキーム】
・名勝指定による現状変更等の制限
・文化財価値の広報、保存・活用
- 【課題】
関係者調整、保存・活用策の検討
- 【スケジュール】
長期（指定→保存・活用）



▲北側園路から ▲南から

事業主体：行政、市民

**国指定天然記念物
「スイゼンジノリ発生地」の保護**

- 【背景】
スイゼンジノリ発生地の保護
- 【事業スキーム】
・継続的な環境調査
・ボランティア団体との連携
- 【課題】
外来植物の繁茂、湧水量の減少、調査の継続
- 【スケジュール】
長期



事業主体：行政、関連団体

既存の文学碑を活用した魅力の発信

- 【背景】
既存文学碑の活用
- 【事業スキーム】
・文学碑の活用方策の検討
・観光ルートの設定
（文学碑と県立図書館との結びつき）
- 【課題】
既存文学碑の把握、発信手法の検討
- 【スケジュール】
長期（スキーム検討→実施）



（漱石の句碑）

事業主体：行政、市民、関連団体

庭園文化を活用した魅力の発信

- 【背景】
庭園景観の活用
- 【事業スキーム】
・庭園を活用した魅力発信手法の検討
・周辺を含めた庭園景観のルールづくり
- 【課題】
魅力の発信手法の検討
- 【スケジュール】
長期（スキーム検討）



（水前寺成趣園）



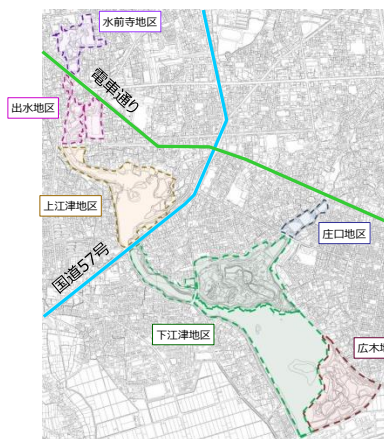
（旧砂取細川邸庭園）

③－２ 連続性・一体性の創出

事業主体：行政、企業、関連団体

ストーリー作り、それと連動した共通サインや照明灯の整備

- 【背景】
地区間の不連続性
（電車通り、国道57号）
- 【事業スキーム】
・関連団体と連携した連続性・一体性の創出
・統一した整備による一体性の醸成
・企業の協賛による施設の更新
- 【課題】
デザイン検討
自然環境への配慮
企業との連携
水前寺地区と出水地区の一体化
（遊歩道の整備）
- 【スケジュール】
短期（スキーム検討、計画→整備）



（水前寺江津湖公園区域図）

③－３ 散策ルートの設定と活用

事業主体：行政、関連団体、市民

**散策ルートの設定と散策マップ
の作成・ガイドツアーの実施**

- 【背景】
歴史的・文化的資源があまり知られていない
- 【事業スキーム】
・関連団体と連携した魅力発信の取組み
- 【課題】
魅力の発信、ボランティアガイドの育成
- 【スケジュール】
短期（スキーム検討→実施）



（秋のセルフガイドマップ）



（過去のガイドツアーの様子）

事業主体：行政

漱石を通じた歴史・文化の魅力発信

- 【背景】
江津湖の歴史があまり知られていない
- 【事業スキーム】
・漱石を通じた歴史・文化の魅力発信
- 【課題】
県市の連携、コンテンツの検討
- 【スケジュール】
短期（スキーム検討→実施）



（くまもと文学・歴史館 周辺散策マップ）

④－１ 情報の集積

事業主体：行政、関連団体

江津湖の歴史・文化遺産や環境に関する情報の集積

- 【背景】
歴史・文化に関する情報管理が不十分、環境に関する情報管理が不十分
- 【事業スキーム】
・組織が連携した調査・研究の実施
- 【課題】
情報の収集・共有
各種団体との連携手法の検討
- 【スケジュール】
長期（収集・集積、調査検討、実施）

④－２ 魅力・価値の発信

事業主体：関連団体、行政

江津湖の情報を集積・発信するビジターセンター（仮）の検討

- 【背景】
江津湖に関する情報管理が不十分
江津湖を総括的に学べる場が少ない
江津湖の魅力発信が不十分
- 【事業スキーム】
・関連団体が主体となった管理運営
・情報発信拠点の一元化
・江津湖の魅力を伝える新たな展開（展示コーナーの設置等）
- 【課題】
スキームの検討
（機能、管理運営、魅力発信手法等）
- 【スケジュール】
長期（スキームの検討→実施）



（リトル江津湖：サービスセンター）

④－３ 環境教育、体験型プログラムの整備

事業主体：関連団体、企業、行政

江津湖の自然に親しみ・楽しみ・理解する観察会等の実施

- 【背景】
生物多様性への馴染みが少ない
- 【事業スキーム】
・関連団体等が主体となった実施
・学校教育と連携した取り組み
- 【課題】
魅力あるコンテンツの検討
- 【スケジュール】
短期（スキーム検討→実施）



（ミズアオイ鑑賞会）



（ホタル観察会）

事業主体：行政、企業、関連団体

江津湖の魅力や価値を伝えるガイドマップや教材等の作成

- 【背景】
江津湖の魅力を感じ・学ぶモノが少ない
- 【事業スキーム】
・企業等と連携した魅力発信手法の検討
・学校教育と連携した取り組み・組織化
- 【課題】
魅力を伝えるコンテンツの検討
- 【スケジュール】
短期（スキーム検討→作成）



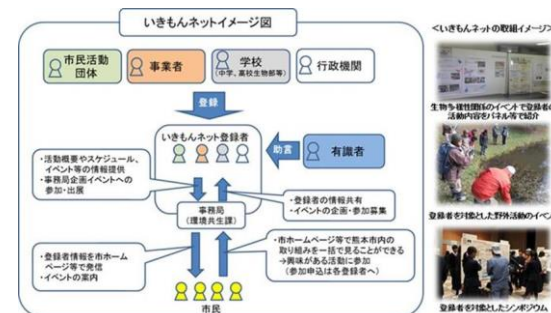
（冬のガイドマップ）

④－４ 担い手づくり、次世代への継承

事業主体：行政、関連団体、市民

自然観察会や歴史・文化巡りを通じて新たな担い手や語り部を育成

- 【背景】
自然と歴史・文化の次世代への継承
- 【事業スキーム】
・くまもとCUIと・まち・いきもんネットワークやくまもと水守を活用した人材育成・発掘
- 【課題】
登録団体の増加
歴史・文化の継承
- 【スケジュール】
長期



（登録者が参加した自然観察会）

施策事業（イメージ）：アクティビティ・マネジメント部会

生物多様性の保全とともに、江津湖の持つポテンシャルを最大限に発揮し、人にとっても生きものにとっても、上質な公園空間の創出を実現する。

基本理念	基本方針	取組み項目	施策事業		
	①「魅力」と「質」の向上	①-1 魅力の発掘	自然体験	バーベキュー・グランピングの実施【市民意見】	①-1-1
		①-2 健康プログラムの展開	健康増進	公園を核とした健康づくり【市民意見、藤田委員、田口委員、健康づくり推進課】	①-2-1
		①-3 園内の回遊性向上	回遊性向上	遊歩道・サイクリングロードの整備、移動手段の確保（陸上・水上）【市民意見、江藤委員、松本委員、東部土木総務課】	①-3-1
		①-4 子ども等の遊び場整備	遊び場	ちびっこプール・ソウさんプールの再整備【市民意見、松本委員、河川課】	①-4-1
			遊び場	ドッグランの整備【市民意見、東部土木総務課】	①-4-2
		①-5 職場空間としての活用	空間活用	OSOTO会議【若松委員】	①-5-1
		①-6 動植物園との一体的な整備	魅力UP	動植物園のリニューアル	①-6-1
		①-7 施設の整備	老朽施設の更新	老朽化施設の更新（デザイン統一）【市民意見】	①-7-1
			駐車場整備	駐車場不足への対応（拡充・連携）【市民意見、松本委員】	①-7-2
		①-8 情報の発信	情報共有・発信	江津湖アプリの開設【江藤委員、環境政策課】	①-8-1
	②適切な公園経営・資産運用	②-1 民間活力の導入	民間活力	公募設置管理制度（P-PFI制度）を活用した公園魅力向上施設の設置【市民意見、動植物園】	②-1-1
			民間活力	民間活力の導入による老朽化施設の更新（トイレ整備・ベンチなど）【藤田委員】	②-1-2
		②-2 マーケティングによるブランド化	ブランド化	江津湖の水、地域産物のブランド化【古賀委員、藤田委員】	②-2-1
		②-3 防災・減災機能の強化	防災・減災	公園のポテンシャルを活かした防災・減災機能の強化	②-3-1
	③運営手法と担い手づくり	③-1 人材育成・担い手づくり	人材育成	公園運営の担い手（キャスト）の発掘と育成	③-1-1
			担い手づくり	江津湖周辺で活動している方々からの講演会、公園まち歩きの実施	③-1-2
		③-2 エリアマネジメントの導入	エリアマネジメント	エリアマネジメントによる公園運営	③-2-1
		③-3 効果的な事業展開・事業検証	事業展開・検証	公園の質を評価するための仕組みづくり	③-3-1

①-1 魅力の発掘

事業主体：企業、行政

バーベキュー・グランピングの実施

※グランピング：「グラマラス（魅力的な）」と「キャンプ（野営）」を掛け合わせたもの。

【背景】

市民からの要望

【事業スキーム】

- ・民間による運営（施設設置管理許可）
- ・熊本の食（野菜、肉）による地産地消

【課題】

周辺環境、周辺住民への配慮

【スケジュール】

短期（社会実験→本格実施）



（バーベキュー）



（グランピング）

①-2 健康プログラムの展開

事業主体：企業、周辺事業者、大学、行政

公園を核とした健康づくり

【背景】

生活習慣病の方の増加、医療費削減

【事業スキーム】

- ・市総合体育館→施設、指導士によるプログラム
- ・周辺店舗→健康食の提供
- ・大学、図書館→アプリ開発、文化遺産
- ・企業→協賛金、協賛商品

【課題】

参加企業の確保

【スケジュール】

短期

（よこはまウォーキングポイント）



①-3 園内の回遊性向上

事業主体：行政

遊歩道・サイクリングロードの整備

【背景】

江津湖を一周できる環境が整っていない

【事業スキーム】

- ・歩行者と自転車の分離
- ・狭小区間の解消
- ・園内を一周できる遊歩道整備（斉藤橋下流右岸）

【課題】

自然環境への配慮
事業費

【スケジュール】

短期、中長期



（サイクリングロード）

事業主体：企業

移動手段の確保（陸上・水上）

【背景】

公園内の移動手段が少ない

【事業スキーム】

- ・レンタサイクル、タンデムサイクルの提供（協賛企業）
- ・水上ボートによる運行

【課題】

自然環境への配慮
参加企業の確保

【スケジュール】

短期、中長期



（レンタサイクル）

①-4 子ども等の遊び場整備

事業主体：行政、企業、ボランティア

ちびっこプール・ゾウさんプールの再整備

【背景】

脱衣所、更衣室がない（ちびっこプール）
ゾウさんプールの利用者減

【事業スキーム】

- ・脱衣所、更衣室整備とトイレの再整備
- ・ゾウさんプールの清掃（ボランティア）

【課題】

体制（担い手）づくりと継続性

【スケジュール】

短期・中長期



（ちびっこプール）



（ゾウさんプール）

事業主体：企業、行政

ドッグランの整備

【背景】

市民意見

【事業スキーム】

- ・企業による運営

【課題】

自然環境への配慮

【スケジュール】

短期・中長期

①-5 職場空間としての活用

事業主体：企業

OSOTO会議

【背景】

仕事場としての利用で、居心地のいい空間が会議やコミュニケーションのあり方も変えてくれる。

【事業スキーム】

- ・協賛企業による、テント、机、椅子等の提供

【課題】

参加企業の確保

【スケジュール】

短期・中長期



①-6 動植物園との一体的な整備

事業主体：行政、企業

動植物園のリニューアル

【背景】

施設老朽化、魅力の低下

【事業スキーム】

- ・民間活力の導入（P-PFI制度）を活用した老朽化施設の更新、魅力UP

【課題】

江津湖公園と動植物園の一体化による魅力UP

【スケジュール】

短期・中長期



（動物ゾーン）



（植物ゾーン）

①-7 施設の整備

事業主体：行政

老朽化施設の更新（デザイン統一）

【背景】

施設の老朽化（照明灯、ベンチ、トイレ等）
水前寺地区と江津湖の一体感

【事業スキーム】

- ・施設更新+デザイン統一
- ・デザインガイドライン作成による継続性の担保

【課題】

自然環境への配慮
事業費の確保

【スケジュール】

短期・中長期



（老朽化したベンチ）

①-7 施設の整備

事業主体：行政

駐車場不足への対応（拡充・連携）

【背景】

通常の休日においても、満車状態

【事業スキーム】

- ・（拡充）下江津避越橋下の活用
 - ・（連携）動植物園駐車場との連携
- ※駐車場の有料化

【課題】

市民の理解

【スケジュール】

（拡充・連携）短期
（有料化）中長期



（駐車場不足）

①-8 情報の発信

事業主体：企業、周辺事業者、大学、行政

江津湖アプリの開発

【背景】

公園の魅力を広く発信する必要がある
（SNSを活用した戦略的な発信）

【事業スキーム】

- ・イベント情報、歴史文化遺産情報などを
プッシュ通知
→案内サイン設置数の削減
- ・イベント、教室等の参加でポイント付与

【課題】

参画団体の確保

【スケジュール】

短期

事業主体：関連団体

案内人によるガイドの実施

【背景】

自然散策で、案内してくれる人が欲しい。
（市民意見）

【事業スキーム】

- ・関連団体による自然散策プログラム

【課題】

体制づくりと効果的な広報発信

【スケジュール】

短期



（案内人によるガイド）

①-8 情報の発信

事業主体：企業（タクシー、ホテル、温浴施設）

旅行者向けタクシーツアー

【背景】

旅行者向けの江津湖を楽しむスキームがない

【事業スキーム】

- ・（タクシー）タクシーの手配
- ・（温浴施設）施設の提供
- ・（ホテル）宿泊プランの提案

【課題】

参加企業の確保、魅力あるプログラムづくり

【スケジュール】

短期・中長期

事業主体：行政、関連団体、企業

パワースポットの発信

【背景】

江津湖を観光資源として活かされて
いない

【事業スキーム】

- ・パワースポットの発信

【課題】

パワースポットの発掘と発信

【スケジュール】

短期

②-1 民間活力の導入

事業主体：企業、行政

公募設置管理制度（P-PFI制度）を活用した魅力向上施設の設置

【背景】

- 都市公園法の改正（H29.6）
- 民間との連携を加速させ、公園の魅力向上を図る
- 公園の個性を引き出すことで、もっと地域に必要とされる財産になる

【事業スキーム】

- ・水前寺江津湖公園を対象としたマーケットサウンディングの実施
- ・P-PFIを活用した魅力向上施設（レストラン、カフェ等）の設置

【課題】

自然環境への配慮（立地場所の検討）

【スケジュール】

短期・中長期



（事例：南池袋公園の便益施設）

②-1 民間活力の導入

事業主体：企業、行政

民間活力の導入による老朽化施設の更新

【背景】

- 施設の老朽化が著しい、施設数も多大（トイレ16基、ベンチ265基）
- トイレの洋式化も未完了

【事業スキーム】

- ・ネーミングライツ等を活用した施設の更新（トイレ洋式化、美装化、ベンチの更新）

【課題】

企業参画要件（サウンディング）

【スケジュール】

短期・中長期



対象施設	西川緑道公園（平和橋北）公園トイレ
契約相手方	カジノ株式会社
契約期間	3年間 （平成29年4月1日～平成32年3月31日）
契約金額	総額30万円（10万円／年）
その他の契約内容	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁にデジタルサイネージ設置 ・太陽光パネル設置 ・すべての便器の取り替え ・大便器は洋式に変更 ・内装、外装の変更 ・週6回程度の見回り

（事例：西川緑道公園 Hare・ルーノ。（岡山市））

②-2 マーケティングによるブランド化

事業主体：周辺事業者、企業、行政

江津湖の水、地域産物のブランド化

【背景】

- 熊本の「水」や「地域産物」のブランド化が図れていない。
- 地域ブランドの取り組み推進（観光振興・地域活性化）

【事業スキーム】

- ・熊本らしさを活かしたブランド戦略（地域の伝統、歴史や食文化を合わせたブランド戦略）

【課題】

- ・生産の担い手の確保
- ・参加団体の確保（商品開発、販売）
- ・ブランドの基盤化

【スケジュール】

短期・中長期



（地下水）



（水前寺のりの土佐酢和え）

②-3 防災・減災機能の強化

事業主体：行政、企業、関連団体

公園のポテンシャルを活かした防災・減災機能の強化

【背景】

- 熊本地震からの教訓
- （緊急避難の場、一時的な避難生活の場、支援拠点の場、給水の場など）

【事業スキーム】

- ・（行政）防災機能の強化（支援拠点、災害井戸）
- ・（周辺事業者）日頃からの防災訓練、防災イベントの展開→イベントガイドラインへの反映

【課題】

体制づくり

【スケジュール】

短期・中長期



（桜町・花畑地区でのエリア防災イベント）

③-1 人材育成・担い手づくり

事業主体：行政、関連団体、企業

公園運営の担い手（キャスト）の発掘と育成

【背景】

- ・行政主導によるまちづくりから、多様な主体の参画によるまちづくりへの転換
- ・公園の維持管理費の減少

【事業スキーム】

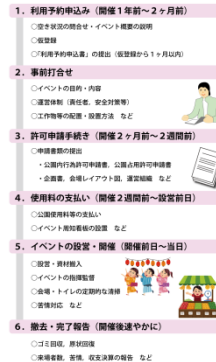
- ・江津湖の自然環境、歴史文化に関する学習イベントの展開
- ・イベントガイドライン作成による、公園利用の活性化
- ・（行政）後方支援（広報PR、備品の貸出し等）
- ・メディアの活用

【課題】

- ・自然環境に配慮したイベント展開
- ・イベント審査機関の設置

【スケジュール】

短期・中長期



（舞鶴公園イベントガイドライン（福岡市））

③-2 エリアマネジメントの導入

事業主体：行政、周辺事業者、関連団体、企業

エリアマネジメントによる公園運営

【背景】

- ・人口減少社会における維持管理、運営（マネジメント）の必要性
- ・地域特性に応じた地域の魅力づくり

【事業スキーム】

- ・当協議会を母体としたエリアマネジメント組織
- ・まちづくりルール（景観、環境保全、サインなど）、情報の共同発信、防災防犯活動の展開

【課題】

- ・エリアマネジメント組織の体制づくり

【スケジュール】

中長期

（※出典：内閣府資料）



（清掃活動（福岡市））



（まちなみ景観づくり（河内長野市））



（震災訓練（六本木ヒルズ））

③-1 人材育成・担い手づくり

事業主体：関連団体、地域団体、行政

江津湖周辺で活動している方々からの講演会、公園まち歩きの実施

【背景】

- ・江津湖の自然環境、歴史文学遺産の継承のための担い手づくり

【事業スキーム】

- ・くまもとCUIと・まち・いきもんネットワークの活用

【課題】

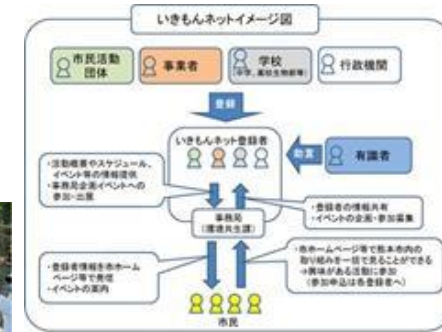
- ・歴史文学遺産分野のスキーム反映
- ・担い手育成のためのコーディネータづくり

【スケジュール】

短期・中長期



（自然観察指導員熊本県連絡会）



（くまもとCUIと・まち・いきもんネットワーク（熊本市））

③-3 効果的な事業展開・事業検証

事業主体：行政、周辺事業者、関連団体、企業

公園の質を評価するための仕組みづくり

【背景】

- ・計画の実行力を高めるためには、適切なPDCAサイクルにより、適時見直しを実施し、効果的な事業展開を図る必要がある。 ※PDCA：PLAN-DO-CHECK-ACTION

【事業スキーム】

- ・事業進捗報告：1回／年（当協議会）
- ・定期見直し評価：3年毎
- ・市民、公園利用者、江津湖での活動団体等による市民ワークショップの開催

【課題】

- ・評価、見直しの項目づくり

【スケジュール】

短期・中長期

